



立憲民主党埼玉県第 15 区総支部長
立憲民主党代表補佐
衆議院議員

たかぎ れんたろう

高木 錬太郎

新型コロナ対策は引き続き与野党で！

～「いのち」と「健康」を守り、「生活」と「商い」を支えるために～



2020年3月19日
第1回新型コロナ対策政府・与野党連絡協議会の様子

第 201 回通常国会は 6 月 17 日に閉会。われわれは継続した
コロナ対策を図るため延長国会を要求していましたが、反対
多数によりそれが叶わず。今国会はとにかく新型コロナウイルス
対策。時々刻々事態が変化の上、そもそも人類にとって
未知のウイルス。適宜適切な対策・支援策は何なのか、与野党
ともに苦悩した 150 日間であったと言っても過言ではありませ
ん。国民の「いのち」「健康」「暮らし」「商い」を守るとい
うのは与野党共通の認識。そこで、与野党それぞれが国民の
声を聞き、政府につなげるという主旨で協議会が設置されま
した。3月19日、その第1回目の会合。その後28回にも亘る協議会の開催。そこでの議論が令和2年度
第1次・第2次の補正予算にもつながりました。立憲民主党をはじめとする野党側が要求していた各種支
援の拡充・要件緩和、そして「ひとり親家庭支援給付金」「家賃支援給付金」「学生支援」等の新制度も創
設に至りました。私も当初から立憲民主党新型コロナウイルス対策本部事務局メンバーに加わり、各種支
援の創設に力を尽くして来ました。

今後の感染状況は予見し難いものがあります。第二波・第三波の懸念も高まっています。治療薬・ワク
チンの開発と国内承認を急がなければなりません、それが叶わないうちは引き続き感染予防策を行い、
感染リスクをしっかりとコントロールする必要があります。同時に、医療機関への更なる支援と検査体制の
拡充。そして、継続した生活支援と事業支援。それらは安倍首相やその取り巻きである官邸官僚に白紙委
任するわけにはいきません。持続化給付金他各種支援策におけるおかしい委託の問題も露見されています。
国会はちゃんと動かして、国会の中において、新たな支援策創設と安倍政権コロナ対策のチェックをして
いなければなりません。明日にでも臨時国会は始めるべきです。

新型コロナ対策関連質疑

▶ 衆議院総務委員会 2020.4.28

令和2年度第1次補正予算案に入った「特別定額給付金」について
高市総務相に質問。事業の主旨、そして安倍首相や高市総務相が述べて
いるように「日本に住む全ての方々へ一人10万円」が本当に給付
されるのか？生活自粛を余儀なくされているにも関わらず給付されな
い方がいるのではないのか？という制度の不備について質しました。
この質疑の結果、一部修正が加わりました。



▶ 衆議院 法務委員会 2020.3.10

- ① 入管施設における人権侵害と
思われる事案への問題意識
- ② 東京高検検事長の勤務延長
という違法閣議決定
- ③ 森法相の国会内外における
答弁の不安定さ



についての見解を質し、
そして何より高木錬太郎が法務委員会で一貫して取り
上げている「選択的夫婦別姓制度」への認識を改めて
問いました。法制審議会答申から約 30 年、一步も動か
なかった民法改正。自民党以外の政党は全て賛成ですが、
なかなか実現に至りません。しかし、粘り強く国会で取り
上げて行くことが何より肝要であると高木錬太郎は考え
ます。引き続き取り組んで行く決意を新たにしました。

▶ 衆議院 議員運営委員会 2020.3.25

国会同意人事である「人事院人事官」
の任命について、共同会派を代表
して質疑を行ないました。
高木錬太郎は、人事官候補者に対し、
近年頻発する自然災害への対応に
奔走する国家公務員への処遇、そし
て若手国家公務員の「国民全体の奉
仕者」としての動機付けについて、
認識を問いました。



高木錬太郎 プロフィール

- 立憲民主党 代表補佐
- 党 災害対策局次長
- 党 行政改革部会事務局長
- 党 新型コロナ対策本部事務局長補佐

- ◆ 1972 年 7 月 21 日 高知県生まれ。
- ◆ 1995 年 中央大学法学部政治学科卒。(株)ニチレイ入社。
- ◆ 2000 年 枝野幸男秘書。
2007 年 埼玉県議選(中央区)挑戦、惜敗。
妻(埼玉県議 高木まり)の秘書として一貫して支えながら
3 児(長女・双子の男児)の育児・家事にも勤しむ「兼業主夫」
- ◆ 2017 年 衆院選北関東ブロック単独比例初当選。
- ◆ 当選直後は「主夫から国会議員へ!」とマスコミからも大きく
取り上げられる。



高木錬太郎
南浦和事務所

▶ 衆議院 総務委員会

「電話リレーサービス法案」質疑 2020.5.26



当事者の皆さんが長きに亘り制度創
設を求められてきた「電話リレー
サービス」。今国会で「聴覚障害者等
による電話の利用の円滑化に関する
法律(通称電話リレーサービス法)」
という新法で制度化されました。
これによって来年度中に、110 番や
119 番のような緊急通報や金融機関
への問い合わせも電話リレーサー
ビスを利用して行うことが可能になります。今後は官民一
体で、この新制度を各界各層に周知広報を行ない、広く
国民に知ってもらえる制度にしなければなりません。

▶ 衆議院 決算行政監視委員会 2020.6.1



自民党側の意味不明な開会拒否のため、ずっと開かれ
ずにいた衆議院決算行政監視委員会。今国会でやっと
審議入り。まずは平成 30 年度決算について質疑。続き
て平成 28 年度および 29 年度予備費使用についての審議。
高木錬太郎は平成 28 年度および 29 年度予備費使用に
ついての審議で質疑に立ちました。この時の予備費は
「西日本豪雨」と「北海道胆振東部地震」という二つの
自然災害への応急対応で使用。それに関連して、現下の
コロナ禍における避難所を含めた複合災害対応に
ついて武田防災相に対し、また複合災害の懸念が
高まる中での補正予算と予備費使用について麻生
財務相に対し認識を質しました。

私の秘書だった高木錬太郎君。
埼玉 15 区での活動にご注目
ください。

立憲民主党 代表 枝野幸男



〒336-0015
さいたま市南区太田窪 5 丁目 27-3 石川ビル 101
TEL : 048-856-9784 FAX : 048-856-9785
URL : <http://www.rentaro-takagi.com>

国会事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1
衆議院第一議員会館 304 号室
TEL : 03-3508-7302 FAX : 03-3508-3302

@rentarou.takagi
 @takagirentaro

